

健康福祉部健康企画課要点録

件 名	令和7年度 長浜市健康づくり推進協議会
日 時	令和7年8月20日(水) 15:00~16:30
場 所	南郷里まちづくりセンター会議室A・B
出席者	一般社団法人湖北医師会 森上直樹 会長 一般社団法人湖北医師会 澤 秀樹 副会長 市立長浜病院 草野 美樹 地域医療連携室 参事 長浜市立湖北病院 馬場 直哉 看護課長補佐 ※ 長浜赤十字病院 楠井 隆 院長 滋賀県湖北健康福祉事務所 嶋村 清志 所長 長浜市連合自治会 川北 恒夫 神照連合会長 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 大橋 知子 介護事業部 部長 特定非営利活動法人健康づくり0次クラブ 宮川 照代 理事 ※オンラインでの参加
欠席者	一般社団法人湖北薬剤師会 大森 徹也 長浜市小中学校教育研究会養護教諭部会 佐々木 望美 長浜市民生委員児童委員協議会 吉田 隆浩 木之本地区民生委員児童委員会長 長浜市健康推進員協議会 瀧本 登茂子 会長
事務局	健康福祉部 山口部長 健康企画課 平塚課長、福永係長、内藤副参事、大谷主幹、三宅主査 健康推進課 前田課長、安居課長代理、勅使河原係長、大島主査 地域医療課 山口課長、津田課長代理 長寿推進課 奥野主幹 保険年金課 松本係長
傍聴者	1名
目的・議題	長浜市健康づくり推進協議会役員選出 議事 1) 第5期健康ながはま21の進捗状況について 2) 長浜健康フェスティバルの開催について 3) 健診受診率向上対策について 報告 4) 健康ながはま21 庁内ワーキングの開催について 5) 心の健康専門部会について
結論・要点 (決定事項)	1. 開会(挨拶:健康福祉部長) 2. 委員自己紹介 3. 健康づくり推進協議会について ・長浜市健康づくり推進協議会規則第2条について説明 ・委員出席者数の確認(委員9名/13名 出席)

規則第6条第3項により、過半数の出席があるため会議として成立

#### 4. 協議会会長、副会長の互選

・選定方法について事務局一任となる

・会長及び副会長決定

会長：森上 直樹 委員（一般社団法人湖北医師会）

副会長：大橋 知子 委員（社会福祉法人長浜市社会福祉協議会）

#### 5. 会議公開の決定

#### 6. 議事

会長（森上委員）が議事進行

事務局より説明

##### （1）第5期健康ながはま21の進捗状況について

・令和6年度各分野の実績状況について事務局より説明（資料1）

###### 意見・質疑応答

・子どもの運動習慣について

委員：近年、子どもたちのスポーツ活動への参加割合が減少しており、

「スポーツ少年団（スポ少）」への加入も減っている。現在、「学  
校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行すること」の方向性  
が国より示されているところだが、活動場所が自宅から遠いために  
保護者の送り迎えが必要となり、その負担や時間的な制約が大きい  
ことがある。

子どもが「自分で通える範囲」で気軽にスポーツに取り組める環境  
整備が重要ではないか。

・生活習慣について

委員：理由はそれぞれだが、親・子ともに日中の時間管理がうまくいか  
ず、夜更かし→朝食の欠食といった生活習慣の乱れにつながってい  
るところを考察する。

働き方が共働き世帯を前提とする中で、今後の健康推進活動にも、  
家事・育児の男女平等化といった多角的なものの見方が求められ  
る。

・今後の取組の方向性について

委員：子どもの健全育成には、スポーツ参加を促すだけでなく、家庭全体  
での時間管理や協力体制づくりが必要。

1日30分、細切れでも体を動かすことに意味があるので、日々の生  
活の中で運動できる時間を捻出するために家族が協力しあうという  
ような内容の広報や、毎日運動できるようなハードルを下げた運動  
習慣づくりを推進してはどうか。

・進捗状況について（資料2、資料9）

- ①身体活動・運動分野
- ②喫煙対策分野
- ③飲酒分野
- ④こころ・休養分野

（資料2、9 ①身体活動・運動について）

**意見・質疑応答**

- ・ウォーキングコースの取組事例

委員：地元の量販店と協働したウォーキングコースの設置について質問

→事務局より地元の量販店（例：平和堂）で、店内にウォーキングコースを設定し取組んでいる「ぱらっとウォーキング」事業について説明。  
利用者が勝手に歩くのではなく、あらかじめコースが設定されており、店内の看板や床への表示などで事業への参加を促している。

- ・健康測定・イベントとの連携

委員：転倒予防の観点から、50代以上を対象に体力測定（片足立ちなど、フレイル予防に関連するもの）を実施できるとよいのではないか。こうした測定を、単独で実施するよりも、イベントに併設した「体験コーナー」として設けると参加しやすいのではないか。

→事務局より、現状の取組として「ながはま健康ステーション」事業について説明。

事業（買物の場）の中で体力測定を実施しているが、内部で情報を共有しつつ、地域イベント等に合わせて展開していきたい。

委員：スポーツや健康イベントの場合、健康に対する意識が高い方が参加する傾向もある。これらのイベントに限定せず、地域の文化祭など幅広い催しの一角に設置すると多くの市民に啓発・体験してもらえ効果的ではないか。

また、市役所の年金関係の相談コーナーなど、人が集まる場に併設する形も有効と考えられる。

⑤歯・お口の健康づくり分野

⑥生活習慣病予防分野

⑦地域医療分野

⑧食育推進計画（食育・栄養分野）

⑨その他

（資料2、9 ⑤歯・お口の健康づくりについて）

**意見・質疑応答**

- ・学校で実施する歯科検診の所見

委員：湖北地域の歯科医師らより「小・中学生の虫歯が増えている」との感想があがっている。

背景として、学校昼食後の歯磨きが中止されていることから、家庭での朝・晩の歯磨き習慣が疎かになっている可能性もある。また、中高生でも歯周病の予備軍が増えており、若年性歯周病にも注意が必要。虫歯だけでなく歯茎の健康にも関心を向けてもらえるとよい。

・啓発活動の方向性

委員：子どもや若者に伝わりやすい方法（例：YouTube動画や「はっきりことば」のようなキャッチャーな表現）での啓発が有効ではないか。また「お口の健康」と「食育・生活習慣病（糖尿病・歯周病）」の関連性もセットで発信していく必要がある。

委員：虫歯が全国的に減少傾向にある中で、増加傾向であるならば心配。米原市ではフッ素うがいを条例で導入しており、長浜市でも検討すべきではないか。

委員：生活習慣の乱れ（夜ふかし、夜食など）も歯や健康に悪影響を与えているため、「早寝早起き」をテーマにした生活習慣の改善が必要と考える。

・電子タバコに関する啓発について

委員：「電子タバコなら害が少ない」という認識が広まっている懸念がある。若い世代に誤解がないように電子タバコの有害性についてもPRを進める必要性があるのではないか。

委員：滋賀県のたばこ対策は県民の「健康寿命の延伸」に大きく影響しており、市の方でも健康への影響を加味して今後も重点的に進めてほしい。

## （2）長浜健康フェスティバルの開催について（資料3）

### 意見・質疑応答

・イベント実施について

委員：以前同様のイベントで「町のお医者さん（健康相談）ブース」として参加したことがあるが、参加する側としても、ほか参加団体との交流が楽しめた。また子どもたちには模擬店やキッズコーナーなども魅力となっていたと思う。良い試みだと思う。

・飲食・食育との連携

委員：模擬店についてはせっかくなので「健康」をテーマにした出展をお願いしたい。

委員：今回計画しているイベントでは、模擬店に余呉産のそばを活用するなど食育の要素を取り入れている。その他、減塩の要素を取り入れた健康的なものが提供できるとよいと思う。

委員：一日の目標摂取量の野菜を吃るのは大変なので、野菜たっぷりの時短メニューを紹介・配布してはどうか。手の込んでいない、簡単に美味しい、さらに作り置きもできるような、現代の生活を考慮したレシピを提案することが、今後の啓発には有効ではないか。

### (3) 健診受診率向上対策について (資料4)

事務局より現状及び対策について説明。今後の受診率向上対策について意見を伺うとともに、受診率向上対策における協力を依頼。

#### 【説明概要】

- ①過去の受診率の経緯
- ②受診率が伸び悩む原因として考えられること
- ③原因に対する取組み
  - ・治療中患者情報の取得
  - ・治療中であれば、健診は不要、医療機関で見てもらえば良いという認識に対する、正しい情報提供
- 関係課で連携し、一体的に取り組める体制づくり  
(チラシの作成、各事業での一体的な活用：啓発等)
- ・取り組みの工夫と限界

委員：治療中であっても健診は必要という啓発を続けているが、それ以上の新たな取り組み案が中々見いだせない現状がある。

#### ・受診日程に関する課題

委員：健診日は平日中心であるのか。80歳(高齢)であってもフルタイム勤務を続けている人が多く、受診が難しい可能性がある。

委員：多くの医療機関は土曜日にも開業しており、受診対応は一定程度可能な状況である。

#### →事務局より現状の健診受入れ体制を説明

集団健診についても、全49回中14回は土日に実施している。  
会場としては、長浜市保健センター、北部健康推進センター（高月分室）にて受け入れている。

受診機会が平日にしかない訳ではないが、予約状況等から確かに土日の受診ニーズは高いと感じており、今後は土日に健診があることについても、周知について検討していきたい。

## 7. 報告(資料5、資料6)

以下の項目について事務局より説明

- (1) 健康ながはま21 庁内ワーキングの開催について  
活動経過及び今後の取組について説明。
- (2) 心の健康専門部会について  
部会の設置目的及びそれに準じた部会委員の推薦依頼について説明  
今年度の部会開催予定時期を説明（10月を予定）

**意見・質疑応答**

委員：市民の健康づくりを推進していくためには、市役所内部の連携がとても重要だと思う。

先程の報告にあったように、庁内での情報共有や目標達成に向けた一体的な取組というものが今後も進んで、健康ながはま21にある目標値に現状が近づいていくようお願いしたい。

**8.閉会（挨拶：健康企画課長）**

以上